

## デジタル印刷

企画委員： 帯川武史



### <はじめに>

page 展は会場の性質もあって、大きな「ハコモノ」を設置するのが難しいが、一方でソリューションやコンセプト、多彩なサンプルを展示して、言い方を変えれば出展社と来場者の距離感がいい意味で近い展示会であると言え、ゆえに毎年のことながら熱気にあふれている。デジタル印刷においては 2008 年の drupa においてインクジェットのオンデマンド印刷というものが革命的に取り上げられ、更に 2012 年の drupa においてはトナー系などを含めてそれが具現化してきた。国内においては約半年前になるが、主に JGAS 展においてそれらの機器やソリューションを身近に感じることができている。

### <将来性の IJ vs 現実性のトナー>

JGAS においてもそうであったのだが、インクジェット技術が将来性において期待感が増していく一方で、トナー系の製品においてまだまだパワーを感じるというか、とても元気があるように見える。今年の page 展では先ほどの話で言えば、実機展示が比較的容易に出来るそれらのデバイスがある意味一堂に揃ったとも言えるべき今回の page であった。これらが前工程となるワークフローシステムや生産管理のツールや、もはやデジタル印刷用途が展示の主流となった後加工機との連携を含めて展示され、更には実用例を含めたビジネスモデルの提案が多彩になされているわけで、より検討する側の立場になっていると強く感じる。

もちろん、IJ 機においても多彩なサンプル展

示と、今後の計画をメーカーの方々から意気込みを含めて聞くことができ、期待を抱くことができる。今後の国内外での展示会等を含めた動向は要注目であり、弊社としてもよりタイムリーな情報提供を行っていきたいと考えている。

### <ワークフロー>

他のカテゴリーについては範疇外になってしまうので詳しくはそちらに譲るが、今回の page における出展傾向として、よりデジタル印刷・・・というかオンデマンド印刷を実現するためのワークフロー・ソリューションの出展が多かったように感じた。例えば MIS についても、感覚的にははあるが関連する製品が多数あったように見えた。話を聞いてもデジタル印刷をより活かすツールとして導入されるケースが増えているそうである。また、印刷会社が代替わりになって若い世代に引き継がれると、意識を含めて経営を変えていこうと考える経営層の方々が増えていると話されていた出展社もあった。

RIP を軸としたワークフローシステムもデジタル印刷があることで、それを活用するための機能がより増えて、新たなバージョンとしてリリースされている。JGAS 展でも同じ印象を受けたが、いわゆる GTP→コンベンショナル印刷とデジタル印刷とが、本当の意味でひとつのシステム上で運用される器が出来てくるのだと思える。

### <主な出展製品（トナー系）>

#### 【MICLOLINE VINCI (株)沖データ】

JGAS 展で発表された白トナー、フィルム出力にも対応したプロセスカラー+αを実現するプリンタ。今回は「POP」「ブライダル」などコンセプト毎にサンプルを展示している。



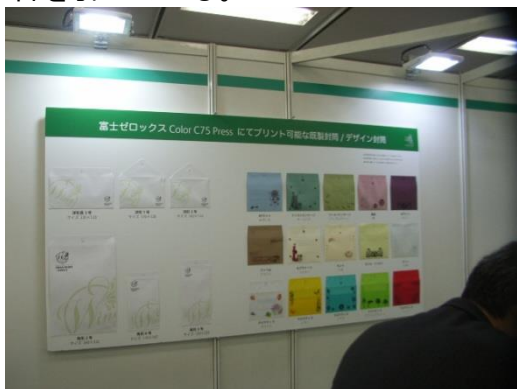
【bizhub PRESS C1070(C1070P/C1060) コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)】

会期直前(2月4日)に発売開始となったbizhubシリーズの最新機種。新開発のデジタルトナーHD<sup>F</sup>を搭載し、各種メディアへの適合性が高くなるなど品質や実用性が大幅に向上している。



【Color C75 Press 富士ゼロックス(株)】

プリンタそのものは一昨年に発売されているが、昨年のJGAS同様製品の特徴を活かしてビジネスに展開させる提案を強調している。今回は各種封筒(既成/デザイン)の印刷サンプルが目を引いている。



【フルカラーオンデマンドプリンタ キヤノンマーケティングジャパン(株)】



参考出品で名称や価格などは未定とのことだが、色の再現性や安定性、及び見当精度など機能面での強化が図られているとのことである。

＜主な出展製品（IJ系）＞

【KM-1 コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)】

drupa2012で発表され、JGASでも展示された同社と(株)小森コーポレーションで共同開発されたUVIJ機。サンプル展示のみであったが今年中の販売を予定している。



【Jet Press 720F(仮称) 富士フイルムデジタルプレス(株)】

こちらも同様に、drupaで発表されJGASでも実機展示されたJet Pressの紙器パッケージ用水性IJ機。同じくサンプルのみの展示であったが、会場では同社がこの春にオープンするデジタルプレスのショールーム「FFGS WING CITY ashigara」が紹介されている。



【AFINIA L801 (株)マイクロボード・テクノロジー】

drupa2012で話題になっていた高速&高品質IJエンジンである「memjet」を搭載したラベルプリンタ。コンパクト設計でありながら毎秒約30cmの生産性を有している。専用のリワインダ

一との組み合わせで巻き取りに対応する。  
同社ブースではこれ以外にも、比較的簡単なオペレーションで運用可能な3DプリンタH479などユニークな製品の展示が注目を集めている。



ラベルプリンタ L801 (上) 3Dプリンタ H479 (下)



【TruepressJet L350UV (株)メディアテクノロジー ジャパン】

こちらもラベル／シール向けUVIJ機で、昨年のJGAS直前に販売開始になった。今回はサンプルのみの展示になったが、品質と生産性を両立させ、従来印刷からの移行や共存を可能にする。

